

委員の皆様からいただいた 御意見について

1 交流人口の創出に向けて

(1) 委員の皆様や関係団体等が現在取り組んでいる事業

- ・ 宇都宮BREX（バスケット）・栃木SC（サッカー）とした連携プロモーションの展開
- ・ JAPAN CUP（サイクルロードレース）に伴う臨時列車の運行
- ・ 地域特産物の推進・宣伝
- ・ 各自治体と連携した魅力発信(東武宇都宮鉄道の愛称「いちご王国ライン」)

(2) 今後、期待されることや求められる事業

- ・ 映画祭など、市外、県外の人たちが興味を持つ文化的なイベントの開催
- ・ 首都圏、東北主要駅へのポスターや電子広告等を活用しながら、「住めば 愉快だ 宇都宮」の訴求強化
- ・ 本市への来訪者の増加やシビックプライドの醸成に向け、オリオン通りやユニオン通りなどの魅力発信の強化
- ・ 全国初の全線新設のLRTを中心とした宇都宮の魅力発信の強化

2 関係人口の拡大に向けて

(1) 委員の皆様や関係団体等が現在取り組んでいる事業

- ・ 都内の経営者を地元につなげるコミュニティづくり（市と連携した交流会の開催など）
- ・ 移住施策として自治体と連携し、臨時列車を運行して見学会を実施

(2) 今後、期待されることや求められる事業

- ・ 多様な強みを持つ地元の方々がそれぞれの強みを活かしながら関係人口の拡大と強化に取り組んでいく動きを市としても実態把握をしながらサポートしてほしい。
- ・ 親子連れが集うコミュニティの場の創出
- ・ ふるさと納税を効果的に活用した魅力発信
- ・ ふるさと納税を積極的に呼びかけ、行政予算だけではなく、民間寄付（宇都宮出身者、ゆかりのある人、市内大学卒業者等）で、市民発意の計画と事業を行う取組を実現
- ・ 移住促進に向け、職探しや住居探しサポートの充実とPR強化、また、子育て施策のPR強化、都内から引っ越してくる人へのサービス強化などが必要

3 移住・定住の促進に向けて

(1) 委員の皆様や関係団体等が現在取り組んでいる事業

- ・ ママチャリサークルやコミュニティディスカッショングループなどの立ち上げ・運営

(2) 今後、期待されることや求められる事業

- ・ 観光分野はPR等がされており、個別ブランドの認知度も高まっていると感じていることから、今後は、移住定住を促進させるような施策の充実が必要
- ・ 市民に住み続けてもらうためにも、公共交通機関の使いやすさやスーパーマーケットやドラックストア等の充実など利便性の向上などが必要
- ・ 就職や進学により市を離れる機会が多い、高校生や大学生に対し、早い段階から宇都宮の充実した子育てや教育制度の周知を行う必要がある。
- ・ 公園の利用者を増やすとともに、コミュニティづくりの場を創出するなど、交流のきっかけとなる場所を充実させる必要がある。(公園内の水遊び施設、街中ドッグラン、ポッチャエリア、小型の貸農園など)
- ・ 移住者の知恵や技術、意欲をまちづくりの力に反映させる取組が必要